

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



胃潰瘍について

消化器内科 五十嵐 亮

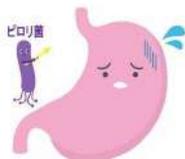
【胃潰瘍とは】

胃潰瘍は胃液に含まれる胃酸と、胃酸から胃壁を守る粘膜のバランスが崩れることで発生します。胃酸は食物を消化するために強酸性であるため、自らの粘膜を消化してしまい、傷がついてしまいます。浅い傷をびらん、深い傷を潰瘍といえます。

【原因】

胃潰瘍の二大原因は、ヘリコバクターピロリ感染と非ステロイド性炎症剤 (NSAIDs) であります。

非ステロイド性炎症剤とは、普段、解熱鎮痛薬で服用するロキソニンや、血液をサラサラにする作用があるアスピリンなどの抗血小板薬のことをいいます。抗血小板薬は、脳梗塞後や狭心症の治療に対して服用します。



【症状】

症状としては、みぞおちの痛み、食欲不振、腹部膨満感などがあります。ご高齢の方や非ステロイド性炎症剤 (NSAIDs) 服用者では症状に乏しく、吐血や黒色便などの出血症状で発症することがあります。

【診断】

○胃内視鏡検査

チューブ状のカメラを、鼻もしくは口から入れて直接胃の中を観察します。胃以外にも食道、十二指腸も一緒に観察することができます。

胃潰瘍に癌が併発している場合もあるため、組織を採取する場合があります。



○胃バリウム検査

造影剤であるバリウムを胃の壁に付着させ、そこにX線を当てることによって、胃の粘膜やひだが観察できるようになります。ただ、異常が見つかった場合には、胃内視鏡検査で精密検査が必要となりますので、第一選択としては内視鏡検査をおすすめします。



【治療】

出血がある場合は、内視鏡で止血を行うことがあります。薬剤としては、胃酸の分泌を抑える、プロトンポンプ阻害薬やH2ブロッカーを服用していただきます。胃潰瘍の治り具合を確認するため、数か月後に胃内視鏡検査を再検します。また、ピロリ菌が原因と考えられる場合には除菌療法を行います。



【予防】

ヘリコバクターピロリ感染が指摘された場合は、除菌療法を行っておきましょう。

NSAIDsは、人によっては数日間服用するだけで胃潰瘍を発症することがあります。空腹で薬剤を服用しない、痛みが強いからと過量服用はせず、適切な用量を守るようにしましょう。



WEB版みんなの健康講座 12月配信予定

※オンライン配信

「歩くと足が疲れる・重い・・・、それって閉塞性動脈硬化症かも」

内科 堀井 睦夫





スポーツレクリエーションフェスティバルに出展しました

2024年10月6日（日）に開催されたスポーツレクリエーションフェスティバルに出展しました。このイベントはスポーツに親んでもらうことを目的に、横浜市緑スポーツセンターが主催しました。

当院からはリハビリテーション部・栄養科・地域医療連携室が参加し、「骨密度測定」「InBody測定」「おとなの運動機能チェック」「こどもの関節柔軟度チェック」の4つを出展しました。

医療専門職に直接相談できる機会ということもあり、延べ174名と沢山の方々がブースを訪れました。また当院以外のブースではリオデジャネイロオリンピック 三段跳代表の長谷川大悟さんによる「かけっこ教室」などが実施され、老若男女問わず多くの方がスポーツに親しむことが出来たと思います。

今後とも病院という立場を通じて、地域の健康づくりに貢献していきたいと思っております。



第17回 消化器センター症例報告会

2024年10月17日（木）に、地域の先生方をお招きして「第17回 消化器センター症例報告会」を開催しました。この報告会は、紹介をいただいた患者さまの治療内容を報告することで、紹介元であるクリニックの先生方と更なる連携を図ることが目的です。当日は当院医師・地域の先生方を合わせて約30名が集まったの報告会となりました。地域から紹介いただいた14症例を報告させていただくなかで活発な意見交換も行われ、連携をより深めることができました。



当院消化器センターでは今年度2名の医師が着任し、診療体制を強化いたしました。また、直近1年間で「そけいヘルニアセンター」「内視鏡治療センター」を開設するなど、より専門性の高い治療ができる環境を整えました。今後も患者さま・紹介いただく先生方の双方に満足いただけるよう、医療レベルの向上に努めて参ります。



緑すこやか健康講座を開催しました

2024年10月26日（土）14時より、緑公会堂にて「緑すこやか健康講座」を実施いたしました。講演テーマは下記の通りです。

整形外科 川村医師・葛西医師・佐々木医師より

「みんなが気になる 膝・股関節・腰の病気の予防・治療」

内科 手塚医師より 「増える心不全！その原因と対策」

脳神経外科 野中医師より 「指導医が教える脳の病気」

当日は200名以上の方々に聴講いただきました。

来場者からは「ためになる講演を聴けてよかった」などのご意見をいただくことができ、少しでも地域の方々の健康意識の向上に役立つことができたと思っております。

緑すこやか健康講座を開催するにあたり、後援の横浜市緑区役所 福祉保健課様をはじめ、地域の方々に多大なるご協力をいただきました。当院理念である「確かな医療技術・やさしい対応・地域への貢献」のもと、今後も健康に役立つ情報を発信することで、地域に根差した病院づくりを目指していきます。



第3回病院祭を開催しました

2024年10月13日（日）に第3回病院祭を開催しました。

例年人気の手術室見学・ベジチェック・運動機能チェックをはじめ、病院内の様々な部署がブースを設けました。検査科ブースでは赤血球・白血球・血小板を顕微鏡で観察するコーナーが設けられ、検査技師の話に多くの参加者が耳を傾けていました。

また、今年度は初めてNPO法人 中途障害者地域活動センター緑工房様・NPO法人 ブラービ様に出展いただくなど、地域の方もお借りしながらイベントを盛り上げることができました。

病院祭を通じて地域の方々と触れ合い、普段は見ることのできない病院を体験していただきました。今後も様々な形で地域と交流していきたいと考えております。

